

県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No. 108

October 2022

大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35

TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



第69回総会にて理事退任



第69回通常総会



浦頭引揚記念館



長崎爆心地、千羽鶴奉納



県議との懇談会



県議との懇談会 会員生協報告

CONTENTS

大分県生活協同組合連合会第69回通常総会が開催 2

被ばく・終戦77年 新たな気持ちで平和を守る
県生協連「第29回平和のつどい」「ナガサキ行動」 3

県生協連第30回
「生協と県議会議員との懇談会」 4

令和5年度大分県予算並びに行政執行に関する要望書を提出 5

県生協連2022年度平和のつどい・
ピースアクション in ナガサキ感想文 6

OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた 10

日田市民生活協同組合 12

グリーンコープ生活協同組合おおいた 13

大分県学校生活協同組合 14

大分大学生生活協同組合 15

大分県職員消費生活協同組合 16

大分県労働者総合生活協同組合 17

大分県勤労者医療生活協同組合 18

大分県医療生活協同組合 19

大分県福祉生活協同組合 20

大分県生活協同組合連合会第69回通常総会が開催

第69回県生協連通常総会は、前年に引き続き新型コロナウイルスの感染予防を考慮し、書面議決書による出席を中心とした開催とし、2022年6月28日(火)に大分市中央町の「ソレイユ」会議室において、加盟12生協の代議員49名中本人出席20名、書面出席27名、委任出席2名、県連役員15名全員が出席しました。

総会は、政丸佐智夫理事が進行し資格審査報告の後総会の成立を宣言、議長に生協コープおおいたの幸 文夫代議員を選出し、最初に以下の総会役職員を任命しました。

①議事運営委員 三重野修次理事、薬師寺ひろみ代議員（グリーンコープ生協おおいた）

②議事録署名人 幸 文夫議長、古本直也代議員（県労働者総合生協）、

溝口慎一郎代議員（自治労大分信販生協）

③総会書記 洸鎌あおい（生協コープおおいた）、関谷綾女（県連事務局）

次に理事会を代表して県生協連青木博範会長理事より、各会員生協・組合員の県生協連活動への協力に対する謝意と、コロナ禍による厳しい経営状況の中で奮闘されている会員生協へ敬意を表すとともに、この危機を役員と組合員の団結で勝利していく決意が示されました。

来賓は新型コロナウイルスの感染予防を考慮しご遠慮いただき、三重野修次議事運営委員長より議案は一括で提案する旨の報告の後、議案審議に入りました。

第1号議案の2021年度活動報告と決算報告は河原申明専務理事、第2号議案の2021年度監査報告は江藤隆康特定監事、第3号議案の2021年度剰余金処分案、第4号議案の2022年度活動方針案と予算案、第5号議案の役員報酬、第7号議案の役員退任慰労金、第8号議案の議案効力発生を河原申明専務理事、第6号議案の役員選任を高瀬宏一理事より提案され、全員異議なく承認可決されました。

次に、第1回理事会が開催され、青木博範会長理事、河原申明専務理事が互選されました。

その後、退任する田辺修理事（大分県医療生協）と辛島サツキ理事（大分県福祉生協）へ青木博範会長理事より感謝状と退任慰労金が贈呈され、田辺修理事・辛島サツキ理事より退任挨拶、吉田禎理事と兒玉達典理事より新任挨拶があり、最後に磯崎修治理事の閉会挨拶で総会は終了しました。

2022年度 役員名簿

役 職 名	氏 名	所属生協・役職名	備 考
会 長 理 事	青 木 博 範	生協コープおおいた理事長	
専 務 理 事	河 原 伸 明	員外	
理 事	後 藤 哲 也	日田市民生協専務理事	
理 事	日 隈 健 一	グリーンコープ生協おおいた専務理事	
理 事	高 瀬 宏 一	大分県学校生協専務理事	
理 事	三重野 修 次	大分県高校生協専務理事	
理 事	磯 崎 修 治	大分大学生協専務理事	
理 事	政 丸 佐智夫	大分県職員消費生協専務理事	
理 事	首 藤 俊 一	自治労大分信販生協専務理事	
理 事	和 泉 吉 信	大分県労働者総合生協専務理事	
理 事	塩 月 裕 市	大分県勤労者医療生協専務理事	
理 事	吉 田 禎	大分県医療生協専務理事	新 任
理 事	兒 玉 達 典	大分県福祉生協常任理事	新 任
監 事	江 藤 隆 康	生協コープおおいた専務理事	
監 事	萩 原 潤	グリーンコープ生協おおいた常務理事	

被ばく・終戦77年 新たな気持ちで平和を守る 県生協連「第29回平和のつどい」「ナガサキ行動」

県生協連は、2年間コロナ禍により実施できなかった「平和のつどい」と「ナガサキ行動」を、今年はコロナ感染対策を十分行いながら以下のとおり実施しました。

【福岡県大刀洗の戦争遺跡めぐりコース】

7月30日、大分・別府地区からバス1台11名が参加しました。この地はかつて陸軍大刀洗飛行場があり、太平洋戦争末期には特攻隊員たちが飛び立った場所です。

昭和14年に開隊した航空技術兵学校で、最大6,000名の航空技術兵が在籍し、飛行機機体・機関発動機・板金・精密機械・鉄砲火器・通信機器・落下傘など航空機に関する全てを教わっていました。終戦直前に米軍機の二度にわたる爆撃により、小学生24人を含む600人を超える尊い命が奪われました。戦争遺跡である第五航空教育隊正門、憲兵分遣隊舎の煉瓦塼、時計台跡（現在は慰霊碑）・監獄壕・飛行隊井戸、頓田の森・北飛行場跡、平和の碑を車中から見学、筑前町が平和への情報発信基地として建設した「平和祈念館」を見学し千羽鶴を奉納しました。

【大分県佐伯市・臼杵市の戦争遺跡めぐりコース】

7月30日、大分・別府地区から小型バス1台9名が参加しました。最初は、臼杵市の防空壕跡を訪ね、持ち主の斉藤行雄さんにガイドしていただき見学しました。

この防空壕は臼杵市平清水の福良天満宮の真下に阿蘇溶結凝灰岩の岩盤を採掘した巨大な防空壕です。壕内は10畳敷の部屋と炊事場、便所、貯蔵庫を備える平清水エリアと150人が収容できるホールと小部屋からなる福良エリアがあり、両エリアはS字状の斜路1本で繋がっており、壕内随所に燭台立てやカンテラ掛けの金具等があり、隣保班同士で避難できるように作られていました。

次に、佐伯平和祈念館を訪れ、高畑館長に詳しく説明いただきました。佐伯市は1934年に海軍佐伯航空隊が開隊し、豊後水道一帯の防衛の任にあたり、太平洋戦争の発端となった真珠湾攻撃の前には佐伯湾に連合艦隊の機動部隊が結集して、模擬演習が行われたことから佐伯市はたびたび激しい空襲を受けて多くの市民が犠牲になりました。この歴史的な背景を鑑み、痛ましい史実を後世に正しく伝え、二度と戦争を繰り返さないと訴えるため、1997年4月、旧海軍兵舎の跡地を公園化した「ふれあい公園」の

一角に、平和祈念館「やわらぎ」が開館されました。最後に全員で千羽鶴を奉納しました。

最後に佐伯市鶴見町丹賀浦の山の上にある丹賀砲台跡を見学しました。この砲台は1926年10月に着工、1933年9月に完成し、山の中に縦と横のトンネルを掘り、砲台には砲身14.2m、45口径30cmのカノン砲2砲が作られ、弾の飛ぶ距離は約26.8km、対岸の愛媛県と豊後水道への敵の侵入を防ぐために作られました。1942年1月11日に実施された実弾訓練の際、試射の最後の砲弾1発が砲塔内部で暴発、16人が即死、28人が重軽傷を負ったため、砲台は使われることはなくなりました。今は戦争遺跡として砲身のあったドームと砲塔井のらせん階段、弾薬庫跡があり、広場には亡くなられた兵士や鶴見町から戦場に行き戦死した方を祈念する平和の塔があります。

【ナガサキ行動】

8月7・8日、大分・別府地区からバス1台9名が参加しました。7日は先ず佐世保市の「無窮洞」を見学、ここは、国民学校の生徒達だけで昭和18年から20年の終戦まで掘り続けた防空壕跡で、中は教壇・教室、食糧庫や炊事場、便所等があります。「無窮」とは極まりがなく無限という意味だそうです。

次に、「針尾送信所（国指定重要文化財）」を見学、この施設は日露戦争を契機に大正時代に建設された無線塔（3基）・電信室であり、無線塔は鉄筋コンクリート製であり高さ136m、基底部は約12mの煙突状の構造であり、1基が現在の約50億円、総工費250億円が費やされ、日本の技術発展を象徴する近代化文化遺産として重要文化財に指定されました。

最後に「浦頭引揚記念資料館」を見学し千羽鶴を奉納しました。終戦後、引揚者約629万人の内、浦頭港には約140万人（遺骨・遺体を含む）が上陸し、佐世保引揚援護局（現在のハウステンボス）まで歩き、手続きの後、故郷に向かわれました。佐世保市は昭和61年、当時の悲慘な引揚げの体験を後世に伝え、恒久平和を願う歴史的遺産として浦頭引揚記念公園・資料館を建設、引揚者を含む全国から寄付が寄せられました。

8日は長崎市に入り、永井博士の「如己堂」を見ながら「平和公園」に入り、「平和の鐘」と「原爆落下中心地碑」に折鶴を捧げました。その後、「原爆資料館」で改めて原子爆弾の恐ろしさや悲惨さを胸に刻み、平和を守る尊さを学びました。

県生協連第30回 「生協と県議会議員との懇談会」

県生協連主催の第30回「生協と県議会議員との懇談会」を3年ぶりに2022年9月14日(水)に大分市都町「アートホテル大分」において開催し、県議会より17名の議員、生協側は県連理事・監事事と会員生協役職員で18名、合計35名が出席しました。

懇談会は、河原県連専務理事の総合司会で始まり、生協を代表して青木博範会長理事より「県議会議員の皆様へのこれまでの生協活動に対するご理解とご協力に対する御礼を述べ、今後ともご支援をお願いしたい」旨のあいさつがあり、県議会を代表して井上伸史議長代行より「私は日田市選出だが、生協にはお世話になっている、本日は御手洗県議会議長の挨拶文を代読したい」とあいさつがありました。

【出席者】(敬称略)

県議会	自由民主党	井上伸史(議長代行)、吉竹 悟
	県民クラブ	平岩純子、小嶋秀行、守永信幸、木田 昇、浦野英樹、馬場 林、尾島保彦、原田孝司、二ノ宮健治、羽野武男、玉田輝義、成迫健児、高橋 肇
	日本共産党	堤 栄三、猿渡久子
生協	生協県連役員	青木博範、河原伸明、後藤哲也、日隈健一、高瀬宏一、三重野修次、政丸佐智夫、首藤俊一、和泉吉信、吉田 禎、江藤隆康、萩原 潤
	コープおおいた	石本理砂理事、瀧澤明子理事
	グリーンコープ	薬師寺ひろみ理事長、渡辺理恵副理事長
	大分県医療	松本茂子副理事長
	県生協連職員	関谷綾女

まず、河原専務理事より「おおいたの生協」を活用し、大分県生協連合会の活動内容を説明、続いて各会員生協より、生協コープおおいたの石本理事、グリーンコープ生協の薬師寺理事長、大分県医療生協の松本副理事長が活動報告を行いました。

質疑では、堤県議より「県内の生協の歴史を見ると津久見、臼杵が早いですが、何か理由があるのか」と質問、青木会長より「津久見も臼杵も労働組合が中心となって設立された」と回答。

小嶋県議より「グリーンコープ電気の状況や電気トラックの配置予定等を聞きたい」と質問、グリーンコープの薬師寺理事長と日隈専務よりGC電気・トラックの現状と今後の予定を報告。

井上県議より「子どもの貧困という言葉に抵抗がある、子ども食堂などの取り組みは評価できるが、行政として対応していく必要がある」と意見があり、大分県医療の松本副理事長が行政への各種の申請は複雑で時間がかかる実態を報告するとともに改善についてを要望。

最後に、今後もこの懇談会は継続していくことを確認し、盛会のうちに終了しました。

その後、懇親会を開催し、懇談会では聞けなかったこと、話しつくせなかったこと等について各県議会議員と懇親親を深めました。

最後に平岩県議より「今後とも生協と協力して大分県民の生活向上に向け努力していきたい」とのご挨拶の後、日田市出身の井上議員・羽野議員・後藤理事による「日田式一本締め」で終了しました。

令和5年度大分県予算並びに 行政執行に関する要望書を提出

大分県生協連合会は毎年大分県に対して要望書を提出しており、2022年度は、10月19日(水)に大分県生活環境部長へ「令和5年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書」を提出しました。

要望内容は、各会員生協の要望等をまとめながら作成しており、今回の要望事項は、①新型コロナウイルス感染症対策及び被害に対する支援、②消費者行政の充実・強化、③食の安全・安心、食品ロス削減の推進、④生活協同組合の育成・強化、⑤大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び今後の災害対策、⑥物価高騰対策、生活困窮世帯・子育て支援、医療費助成の拡充、⑦地域医療及び医療提供体制の確保についての7つのテーマとなりました。

当日は、県生活環境部より高橋部長、河野課長、大石補佐、首藤主幹の4名、県生協連は、青木会長理事、河原専務理事、地域生協より日隈理事（グリーンコープ生協おおいた専務）、医療生協より塩月理事（県勤労者医療生協専務）、吉田理事（大分県医療生協専務）、関谷職員
の6名が出席しました。

最初に県生協連の青木会長理事より「日頃より、生活環境部の皆さんには県民の消費者行政・福祉・暮らしを良くする活動にご尽力されていることに感謝し、生協運動にご支援とご協力をいただいていることに御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染対策に尽力されていることに敬意を表します。コロナ以外にも私たちを取り巻く状況は厳しくなっていますが、生協としてもできる限り県民生活の向上に向けて取り組みを進めてまいります。今回も新型コロナウイルス感染対策、消費者行政から医療・福祉まで幅広い分野での要望ですが、ご検討をいただきたい。」とあいさつがあり、出席者全員の自己紹介の後、青木会長理事より高橋生活環境部長に要望書を手渡しました。要望書の内容については河原専務理事より7項目の概要が説明され、2023年1月16日までに文書で回答いただくよう要請しました。

その後、高橋部長より「大分県生協連合会におかれましては、消費者行政、食の安全・安心、環境や福祉、災害支援等に多大なご協力をいただいていることに感謝申し上げます。本日いただいた多岐にわたるご要望については関係部署とも協議しながら誠意をもって回答申し上げます。」と述べられました。意見交換では、高橋部長より医療生協の現状について質問があり、勤労者医療生協の塩月専務、県医療生協の吉田専務よりコロナ禍の中における発熱外来の状況等が報告され、今後とも意見交換の場を継続していくことを確認し終了しました。

県生協連2022年度平和のつどい・ ピースアクション in ナガサキ感想文

2022年7月30日平和の集い（戦争遺跡めぐり）

・県南コース（臼杵～佐伯）



「戦跡めぐりバスツアー」

グリーンコープ生活協同組合おおいた 寺岡 知世

まず向かったのは、臼杵市の屋敷余り特殊地下壕でした。

管理をされている齋藤さんという方の案内で一人ずつ懐中電灯を持ち、中へ入っていきました。炊事場や便所、貯蔵庫、小部屋がいくつもあり、爆風よけの壁など、綿密に設計されている様子でした。人々を守る為に工夫して完成させたのだろうと当時の方々の思いを想像しながら見学しました。

続いて向かったのは、佐伯市平和祈念館やわらぎでした。

佐伯市での海軍や特攻隊の様子や家庭環境など、分かりやす

く説明してくださいました。

終戦してから、日米の元兵士同士が友好関係を築く為に生涯、力を入れていたことを聞き、感激しました。

最後に丹賀砲台に向かいました。

豊後水道への敵の侵入を防ぐために作られたようですが、実射訓練の際に一発の弾丸が砲台内部で暴発してしまい使われなくなったそうです。

砲台を出ると山頂からきれいな景色がみえました。ここには砲台は似合わないな、と思いました。



「私にとって身近になった戦争」

大分県医療生活協同組合 山田 香里

今回初めて自分の家から近い県南コース臼杵市や佐伯市の戦争遺跡めぐりに参加させていただきました。そこで戦争の被害や加害の話聞き、実際に見てきました。今まで、私は戦争のことは、漫画、テレビ、義理の父の話で知っているつもりでした。そして、広島原爆資料館の見学もしていました。また、ロシアのウクライナ侵攻もあり、「戦争してはいけない」「戦争はみんなが不幸になる」と頭の中だけではわかっていたつもりでした。でも、戦争は遠い昔の話、遠いところの話だと思っていました。

しかし、今回県南コースに参加することで、私にとって戦争のイメージがとても身近になりました。戦争遺跡は家から2時間位の距離にあった話なのだと実感しました。また、わたしにとって豊後水道は聞きなれた穏やかなイメージの海でしたが、その豊後水道は軍港呉港を守るため、佐伯に多くの軍需施設が建てられ、そこで悲惨な出来事があったことを知りました。しかも、それが私の生まれる10年前の話で、生まれるのが少し早ければ悲惨なことに私も遭遇していたのかもしれないと思いました。

戦争は決して遠い昔の話や遠いところのことではなく、身近なことなのだと思います。そして、今まで以上に、これからは絶対に戦争を起こさないようにしていかなければいけないと強く思いました。軍事費を大幅に拡大しようとしている政府の動きに注目し、外交で平和的解決を図れるように政府に働きかけたいと思いました。77年間戦争がなかったのは日本国憲法があったからだと思いました。憲法を守り、引き続き平和でいられますように微力ながら努力していきたいと思いました。

臼杵平清水で、実際の防空壕の見学をしました。「空襲を避けて、ここに家族単位や隣保班単位で使って

いた。これがたった77年前に使われていた」という話を聞き、実際の現場を見ることで、より戦争が身近になりました。次に佐伯の平和祈念館「やわらぎ」の見学をしました。「日本は資源を求めて、東アジアを占領したが、餓死した日本兵がたくさんいた。呉港を守る役目が豊後水道にあり、佐伯が軍都として栄えた。佐伯から真珠湾攻撃に参加した兵隊さんが多くいた。真湾攻撃でたまたま生き残った日本兵とアメリカ兵の方が佐伯市に来て会うことができ、二度と戦争をしないように願い、友好の木、桜とねむの木を植え、その木が大きくなって枝と枝が握手をしているかのようになっている。東南アジア全体の犠牲者が2000万人いたこと」等の話を聞きました。ここでも、それがたった7,80年前に起きたことときいて、そんなに昔のことではないのだと思いました。それから、丹賀砲台跡に見学に行きました。丹賀砲台は豊後水道を見下ろす場所で、敵の戦艦等を打つために作られた。しかし、実射訓練中に暴発し、16人が死亡し28人が重軽傷を負った。

・大刀洗コース（朝倉郡筑前町）



「二度と戦争をしてはいけない」

大分県学校生活協同組合 退職組合員 林 紀子

7月30日に大分県生活連合会の「平和のつどい（戦争遺跡めぐり）」に参加させて頂きました。私達一団は大刀洗平和記念館と大刀洗地区の戦争遺跡を巡りました。

平和記念館では、まず世界で唯一現存する零戦三二型に目を奪われます。こんな飛行機をこの狭い席で、おそらく年若い人が1人で操縦し出撃をしたのかと驚かされるのです。そして、歩みをすすめるとそうした飛行機で出撃して行った兵士たちの年若い幼い顔写真、出撃前の家族へ送った決意の手紙があらわ

れます。彼らの家族への手紙は、それはそれは家族思いで優しく、それが故にかなしく胸がしめつけられる思いでした。

3年前にもこの記念館を訪れました。その時も「二度と戦争はしてはいけない」と心に強く思いました。ただ、その時の私は「他国で地域紛争は起こっているものの、日本は、世界は戦争をしないだろう」と思っていました。しかし、今ロシアはウクライナに戦争をおこし、世界情勢は不安定です。また、この先戦争を起こしてしまつては、若くして亡くなったこの人達に申し訳がたたない。私達は、決意をもって、もっと注意深く生きていかなければいけないと再度心に誓った1日でした。

大分県生協の方々には、コロナ禍の中での準備、とても大変であったことを推察いたします。ツアーが実施されたこと、とても感謝しています。ありがとうございました。



「大刀洗平和記念館を訪れて」

大分県学校生活協同組合 泥谷 裕治

過去に2回程、大刀洗平和記念館を訪れたことがあり、いつか子ども達を連れていきたいと思っていました。昨年度、希望しましたが中止になり、今年度は親子ではなく、親のみの平和の集いとなりましたが、自身3度目の大刀洗平和記念館に訪問させていただきました。今回平和記念館ではなく周辺の戦争遺跡めぐりもあり、とてもわかりやすいガイドをしていただきながら、バスでめぐる工程はとても有意義なものになりました。近いうちに子ども達と平和記念館を訪れ、周辺を私がガイドし

たいと思います。昨今のウクライナ情勢や、中国台湾問題など、平和が危惧される状況が続いておりますが「二度と戦争はしない」という気持ちを再確認することができました。来年度は別のコースで参加したいと考えています。ありがとうございました。アコーディオンの生演奏を聴きながらのランチは最高のひとときでした。平和を実感することができました。



「ピースアクション in ナガサキ感想」

グリーンコープ生活協同組合おおいた 田中 仁美

今回、初めてピースアクションに参加させていただきました。太平洋戦争中に当時の宮村国民学校の教師と小学生（中学生）たちが掘った巨大な防空壕「無窮洞」の見学では、戦争中では子供たちはほとんど勉強ができず、戦争のための活動や防空壕を作った様子をお聞きしました。

他にも、軍事利用を目的とした針尾送信所や、戦後140万人の引揚者が上陸した浦頭引揚記念平和公園・資料館へ行き、戦争中に起きていた状況や戦後にも大変苦勞された事を知りました。引揚船に乗り日本の松が見えた時には、嬉しくて皆で肩を組んで喜びの歌を歌ったそうです。多くの方々の苦しい思いや祖国日本に戻れた事がいかに嬉しかったか、その道中でたくさんの方が亡くなった事などを知り、当時に思いを寄せて心の中で祈りました。

2日目は平和公園・原爆資料館へ行きました。その日は、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典の前日で、明日に向けてのリハーサルが

行われていました。照りつける太陽がとても強く、立っているだけで汗が滝のように流れる中、原爆が落ちた日を思うと、どんなに苦しかったか想像を絶する気持ちになりました。

私が直接見て感じた事、学んだ事を家に帰って子供たちに話をし、戦争のこわさを伝えました。旅行が終わって次の日、家族と一緒に式典を見て黙祷をし、ピースアクションに参加させてもらった事で、平和について深く考え、子供たちに伝えることの大切さを身をもって感じました。参加させていただき、本当にありがとうございました。



「ピースアクション in ナガサキ参加して」

大分県学校生活協同組合 環 恵美

ピースインアクションに、今回初めて参加しました。長崎の戦争遺跡をめぐることで、様々な人たちの体験とそこにある戦争の悲惨さを学ぶ機会となり、充実した研修となりました。

『浦頭引揚記念資料館』で、戦後に多くの人が引き揚げた後、苦勞をして故郷へ戻っていったことや、今は観光客が訪れるハウステンボスのある場所が、かつては引き揚げ者たちの援護局になっていたことと、戦争中は日本軍の関連施設だったことを初めて知りました。窓から眺める、水と緑が豊かな西洋式の町なみやひまわりと風車の景色に、平和を感じずにはいられませんでした。

『長崎平和公園』では、翌日の平和記念式典の準備が行われている中で、ガイドさんから話を聞きました。当時のことを想像しながら平和祈念像に手を合わせ、平和を祈りました。

私は、前日の8月6日に、「原爆の脅威を世界に伝えた人、永井隆博士」について学んでいました。遺されたロザリオや幼い子どもたちへの思いや著書などを、実際に資料館で見て、核兵器廃絶の願い

を強く持ちました。また、ガイドさんの歌声『長崎の鐘』が、今まで聴いたこの歌の中で一番心に染みました。

戦争のない平和な世界の実現に向けた活動に、多くの人に参加できることと、今後も続いていくといいなと思うとともに、この活動で学んだことを周りの人に伝えていこうと思いました。ありがとうございました。





「県生協連ピースアクション in ナガサキに参加して」

大分県職員消費生活協同組合 政丸 佐智夫

大分県生協連では8月7日(日)から8日(月)にピースアクション in ナガサキ戦争遺跡めぐりとして4生協9名で貸し切りバスで長崎方面に出発しました。新型コロナウイルス感染症対応として大人のみの参加となり3年ぶりの実施でした。

初日は、1943年(昭和18)から終戦の日まで現在の小中学生にあたる子どもたちが掘り続けた佐世保市の防空壕「無窮洞(むきゅうどう)」を見学、地下教室には教壇もあり空襲の時に全校生徒約600人が避難しましたが酸欠状態になり農具の「唐箕(とうみ)」で空気を送ったとのこと、壮大な規模に驚かされました。

次に旧日本海軍が1922年(大正11)総工費155万円(現在の約250億円)で建設した「針尾送信所」を見学。正三角形に並んだ3基の無線塔、高さ136mの鉄筋コンクリート製で1基は内部を見ることができます。

太平洋戦争開戦を告げた「ニイタカヤマノボレ1208」を送信したといわれています。歩道や電信室などの整備が進められてきま

した。「無窮洞」とともに保存会による現地ガイドの施設案内もあり猛暑の中、バスが出て行くまでお見送りがありおもてなしの心が感じられた両施設でした。

針尾無線塔の設計者は佐賀関精錬所煙突も調査しており大分にも縁を感じました。道中、バスガイドの話に連合艦隊司令長官「山本五十六」の名前が出ましたが海軍兵学校同期の杵築市出身の非戦の軍人「堀悌吉(ほりていきち)」を思い出しました。

「浦頭(うらがしら)引揚記念平和公園・資料館」では、平和公園入り口に「かえり船」の歌碑があり、資料館では引揚げの資料DVDが上映されました。戦後海外から約629万人の日本人が引揚げ、浦頭には約140万人が上陸したとのこと。戦後77年、当時の悲惨な状況をこれからも後世に伝えていく大事さとともに大変さを改めて実感させられました。県生協連加盟の生協で折った千羽鶴を贈呈しました。視察の後、ホテルオークラJRハウステンボスに宿泊。打ち上げ花火にほっと一息。

2日目は佐世保から長崎市内へ、車窓から永井隆博士の二畳ほどの「如己堂(によこどう)」、爆風で一本柱になった山王神社の鳥居、防空壕跡などを見ることができました。

「平和公園」では平和祈念像前で明日の長崎平和祈念式典リハーサルが行われていました。各国から送られた平和のモニュメント、水を求め亡くなっていった被爆者たちの霊を慰め、恒久的な世界平和と核兵器廃絶の願いを込めて建設された「平和の泉」などバスガイドの案内で見ることができました。平和公園内と原子爆弾落下中心地にも千羽鶴をお供えしました。

「長崎原爆資料館」は被爆資料や写真などの展示、原爆が投下されるに至った経緯、核兵器開発の歴史、平和希求などのストーリー性のある展示となっています。併設の長崎原爆死没者追悼平和祈念館にも立ち寄りました。亡父は三菱工業専門学校在学中(16歳)に体をこわし、原爆投下の3ヶ月前に国東に帰ってきました(私の今がある)。浦上天主堂の真下に学校があったため友人のほとんどを原爆でなくしたとのこと。

昼食会場は大浦天主堂の下、食後、暑さと戦いながら周辺を自由散策。昭和の時代から今に思いをはせながら帰途につきました。



生活協同組合コープおおいた①

創立70周年記念ウォークラリー

5月14日(土) コープおおいたの創立70周年記念イベントの第1弾が開催されました。今回は約5キロ強を歩きながらクイズやゲームを楽しむ「ウォークラリー」36組105人の組合員にご参加いただきました。前日まで天気予報とにらめっこしていましたが、当日は清々しい晴れ！みなさんの思いが通じたようです。70周年をお祝いして組合員に楽しんでもらう企画にはぴったりな気候となりました。

開会式後、医療生協さんによる準備体操！日頃使わない筋肉がびっくりしないように十分にストレッチなどをしました。江藤専務理事の合図で3分ごとに6組ずつスタートしてチェックポイントを目指します。チェックポイントでクイズを解き、ゲームポイントで追加得点を狙います。また、別大国道沿いにはJR九州日豊本線が通っており、すぐ近くを列車が通ります。手持ちのスマートフォンやカメラで車体を撮影すると追加得点☆列車が通るとみなさん「キタキタ!!」と構えていました。

ゴールすると、コープおおいたの福祉・共済事業、グループ会社のコープハウジング大分、ヒューマック大分、協力団体としてこくみん共済コープさん、医療生協さんがブースでお出迎え。ゲームやクイズ、体験ブースなどによって、くらしに関する保障や福祉など生活によりそった団体であることをお知らせできる時間となりました。

閉会式ではさまざまな豪華賞品を用意して表彰式を行いました。入賞できた方もできなかった方も、ふるさとの良さを再発見したひとときとなったのではないのでしょうか。



中津市と包括的連携協定を締結

5月16日(月)中津市と15例目となる包括的連携協定を締結しました。

奥塚正典中津市長より、「中津市は住民の満足度NO.1にしよう」と取り組んでいる。行政だけでは難しく、企業と手を携えて協力していきたい」とご挨拶いただきました。

コープおおいた 青木博範理事長は、「自治体、地域のみなさん、各企業や団体とパートナーシップで目標を達成していきたい」と思います」と挨拶しました。

■中津市と生活協同組合コープおおいたとの地域包括連携協定締結項目

- 1) 防災と災害時の支援に関すること
- 2) 地域の見守り・声かけに関すること
- 3) 健康づくりに関すること
- 4) 市産品、農林水産物及び加工品の販路拡大に関すること
- 5) 子育て支援に関すること
- 6) 環境保全に関すること
- 7) その他地域住民サービスの向上及び地域活性化に関すること



今後もコープおおいたは、地域社会の一員としての役割と責任を果たすため、多様化するくらしに対応する事業展開とともに、行政や自治体、各分野関係団体と連携して大分県の発展に寄与してまいります。

生活協同組合コープおおいた②

ウクライナ避難民への支援活動

5月25日、日田市と別府市が受け入れをしているウクライナ避難民の方（4世帯16人）をコープ別府店にお招きし、交流会を開催しました。

この交流会は、母国を離れ慣れないことも多いことに加えてウクライナの情勢や戦況に不安な日々が続いているため、少しでも気を紛らわせる時間を提供したく、食を通じた時間を企画しました。

ウクライナのみなさんは、まずコープ別府店食材を選び、集会室でそれぞれの料理を作っていました。豚肉やブリン、じゃがいもを煮込んだ「ジャルコーエ」、ボルシチなどの家庭料理12品がテーブルに並びました。

また、コープおおいたの惣菜担当が作ったボルシチとスメタナ、日本食としてカレーも並べ、本場の味付けと食べ比べもしました。交流会の中では日頃支援している行政関係者や、NPO法人リエラの職員も一緒に食事を囲み、大分で生活する上で困っていることなどをお話していました。ウクライナの方同士でも日田市と別府市で離れて住んでいるため、同じ場所に集まることはなかったため、母国語で話に花を咲かせていました。参加者からは「ウクライナの家族みたい、ここは静かで良い」「楽しい。誕生日みたい」「1か月半ぶりにウクライナ料理を食べられてうれしい」というお声をいただきました。

また、コープおおいたのお取引先の(株)NTS ネクスト様、(株)博運社様、(株)流通サービス様からお預かりしたAI 通訳機をお渡ししました。通訳機にはウクライナ語で話しかけると日本語に変換されてコミュニケーションの一助となります。

コープ共済連からはお子さん向けにコーすけのぬいぐるみを提供いただき、コープおおいたからはマリーゴールドを贈りました。以前お買い物に来られた際に店頭で販売していたところ、「ウクライナでも咲いていた」と懐かしそうに眺めていたため、この日のみなさんの思い出としてお渡ししました。



創立70周年記念駅前イベント

8月27日(土)大分駅前広場にて創立70周年記念イベントを開催しました。2,000枚用意したザ・キャンピンカンパニーさん書き下ろしのうちわも午前中に無くなり、販売商品も売り切れ続出！ウクライナのイリナさんのネイルケアや手作り作家さん、コアノンロール交換会も大賑わい！ふくしま販売ブースでは福島県産の果物、お菓子、お酒などを用意し、多くの方に商品の良さを知っていただきました。

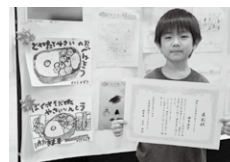
ステージイベントでは、由布はさま太鼓、サンリオキャラクターショー、お菓子積み上げぐらぐらタワー、大分商業高校吹奏楽部、福島座談会、様々な催しを楽しんでいただきました。

福島座談会では司会の大野タカシさんとともに、福島県の方々と福島県に訪問したコープおおいた職員と「ふくしま座談会・震災から11年、ふくしまの今」をテーマにトークセッションを行いました。



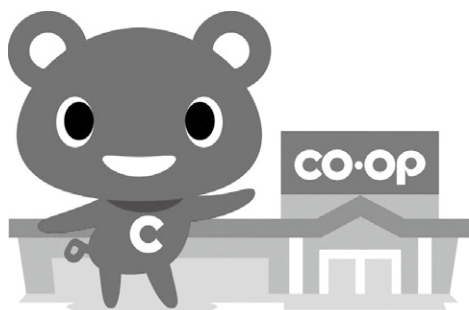
創立70周年記念文化企画を開催

9月24日(土)コープおおいた創立70周年記念企画として「食育&子育て講演会」を明日香美容文化専門学校にて開催いたしました。午前の部は食育講演会として「お弁当の日」の上映と柴田 真佑様による講演会を開催しました。お弁当を作ることで、家族への感謝が生まれ自身の行動にも変化が生まれるきっかけを学びました。また、上映に合わせ「理想のお弁当の絵」を募集、130作品の応募がありました。応募作品の中から理事長賞・専務賞・70周年記念特別賞の表彰を行いました。午後の部は子育て講演会をつだ つよし、様より講演していただきました。親子でのコミュニケーションの取り方、子どもの心を開く聴き方、伝え方などを親子ワークで学びました。各講演とも大勢の親子の参加をいただきました。



日田市民生活協同組合

主な活動紹介



たすけあい共済

2003年7月より取り扱いを開始いたしました「たすけあい共済」の保有件数も今年度5,300件を突破し、当初目指していた組合員加入率30%にいよいよ近づいてまいりました。

一昨年よりコロナ禍にあつて推進活動の制約はございますが目標数値の達成と共に、ここ最近は新型コロナによるご請求も増加し、`給付のための共済、組合員の困った時のお役立ちの意味を実感しております。

お買物無料送迎サービス

日々の買い物にご不便を感じている組合員さんに対して2020年8月に開始した生協店舗への無料送迎サービスですが、現在2拠点、約80名の登録者に対して、週5日・毎日5便の運行を行っています。少子高齢化などの影響もあり利用者は増加傾向にあります。



環境保全マイバッグ持参運動

1991年より取り組みを開始した『マイバック運動』ですが、多くの組合員の皆様のご理解とご協力により、昨年2021年は年間を通じ88%を達成いたしました。

グリーンコープ生活協同組合おおいた

グリーンコープは、地球の生命(いのち)を守って、みどりの地球をみどりのまま子どもたちに手渡すために、
2027カーボンニュートラルの実現を目指します！



今、すさまじい勢いで地球全体の気候が変動しています。私たちの身近なところでも、台風の大化や長時間に及ぶ豪雨、夏場の異常高温などにより、日々の生活や生命までも脅かすような自然災害や農作物の被害が毎年のように発生しています。もはや単なる気候変動ではなく、地球上に生存するすべての生物にとっての危機とも言えます。

待ったなしの状況であるこの危機に対して、グリーンコープは2027年までに事業で排出する二酸化炭素をゼロにする「2027カーボンニュートラル」に取り組みます。

グリーンコープの全ての車を電気自動車に！



組合員に「安心安全で美味しい食べもの」を運ぶ配送トラックから「原発フリー」で「二酸化炭素(CO₂)基礎排出量0」の「グリーンコープでんき」で走る、電気トラックに随时切り替えていきます。



電気トラック第一号！

4R運動をもっとすすめます！

4Rとは、リフューズ(断る)リデュース(減らす)リユース(再使用)リサイクル(再生利用)のことで、グリーンコープでは「リユースびん・GCトレー・カタログ・袋 to 袋」の回収、ファイバーリサイクルの取り組み等を行っています。



フードマイレージ(食べものの輸送距離)・ポコを貯めます！

1ポコ =
CO₂150g

国産のものを食べることで削減されるCO₂をポコ(poco)という単位で数値化しています。日本の農畜水産物と環境を守るための取り組みです1ポコ = CO₂(150g)に値します。

国産小麦のGC食パンは外麦食パンより輸送距離が短いので1.5ポコ = CO₂(150g)の削減をしたことになります。



森林や森の整備に取り組みます！



二酸化炭素吸収の活動として、インドネシアにあるGC『エコシュリンプ』(エビ)の加工会社と、生産者、養殖池の近隣の皆さんで、マングローブを植林する取り組みを行っています。また、植林後の手入れをすることで、池の生態系を守り、水質や養殖環境の改善が期待できます。

おおいたの取り組みでは、「持続可能な未来の暮らしを考える」学習会を開催し、映画「杜人(もりびと)」の上映会や地域で森の整備の活動をしている組合員による活動報告会を開催。実際に森に入って、子どもたちと一緒に学ぶ楽しい体験学習会を予定しています。



植樹する近隣の皆さん

今こそ、私たち一人ひとりができることから始めよう。

大分県学校生活協同組合

ピースアクション in ナガサキ

8月7日～8日の日程で日本生協連主催の「ピースアクション in ナガサキ」に、学校生協から組合員3名と事務局1名が参加しました。2日目は平和公園・原爆資料館を見学しました。平和公園には9日の式典のリハーサルや平和学習の団体などが来ており、たくさんの折り鶴が捧げられていました。

3年ぶりの開催でしたが、コロナ対策を行い、平和の大切さが再認識できる貴重な2日間でした。私たちにできる事は戦争を忘れず、伝え、学び続けることだと、しっかり学習する事ができました。



無窮洞で



平和公園で

第29回県生協連平和のつどい

7月30日、大分県生協連主催の「県生協連平和のつどい（2コース）」をコロナ対策に十分配慮して、3年ぶりに開催しました。「臼杵・佐伯地区の戦争遺跡めぐり」に学校生協から組合員1名が参加しました。臼杵の赤猫洞は屋敷余り地下壕で巨大な防空壕です。次に佐伯市平和祈念館「やわらぎ」と丹賀砲台を訪れ、戦争の歴史を正確に伝え、二度と戦争を繰り返していけないことを改めて学びました。また、「大刀洗地区の戦争遺跡めぐり」に学校生協から組合員とその家族5名、事務局1名が参加しました。大刀洗平和記念館（福岡県筑前町）を訪れ、大刀洗飛行場が存在した昭和20年までの航空史を紹介して頂きました。掩体壕等は車窓で見学をしました。

日本は空襲により壊滅的被害を受け、多くの人々の命が失われました。忘れてはならない戦争の悲劇を通して平和の大切さについて学習ができました。



大刀洗平和記念館で



大分大学生生活協同組合

2023年新入生のお迎え準備&学生の食事をサポート！

2023年新入生のお迎え準備

9月26日(火)に総合選抜入試Ⅰが実施され、いよいよ2023年新入生をお迎えする準備がスタートします。

新入生を迎えるために、2022年に入学した学生を集めた『大分大学生に聴きました』を実施し、大分大学生協のサービスや取り組みの認知度や率直な意見をヒアリングしています。

これからは学生スタッフの研修が実施されます。住まい、共済、パソコン、食事と多岐にわたる研修ですが、来年入学する新入生が笑顔で学生生活を送れるよう、しっかりと準備を進めていきます。



↑『大分大学生に聴きました』の様子

学生の食事をサポート！

外出も難しい、という現状を受け大分大学生協のショップではお弁当や手作りパンなどに加え、自炊コーナーの設置や冷凍食品の強化を行いました。自炊コーナーでは簡単に料理のできるパスタの人气があり、冷凍食品は週末に多くの方が購入されています。また実験展開したお米や生卵も毎回品切れになるなど、新しい発見もありました。今後も学生の生活に合わせた店舗づくりや取り組みを行っていきます。



↑冷凍食品コーナー



↑自炊コーナー

大分県職員消費生活協同組合

新自治労会館で県職員生協事務局・売店営業再開 (10月17日)

自治労会館の建替えにより仮移転していた県職員生協事務局・売店は新自治労会館の完成により府内5番街商店街から大分市大手町3丁目2-9にもどり営業再開しました。

農業大学校の新鮮野菜等の販売や水曜日のクリーニングサービスデー、クオカード、毎月8日・18日限定の吉野巻（卵焼きと山芋の味が絶妙）や、各種飲料・お菓子など取りそろえてお待ちしています。

事業者向けには県内外に向けて県証紙、フロン排出抑制法に基づく行程管理票（県内では業界団体1カ所と県職員生協のみ）取り扱っています。是非お立ち寄りください。

【営業時間、月・火・木曜日 8:30～17:15、水曜日 8:00～18:00、金曜日 8:30～18:00】



「JQパークス大手町駐車場」 (大分市大手町3丁目1番)の駐車券販売

県庁舎等をご利用の団体・法人向けに本店で県庁舎新館横のJQパークス大手町駐車場の駐車券を取り扱っています。料金は40分200円、平日24時間最大800円、土日祝24時間最大500円です。

券種は100円券、200円券、10枚単位で販売中。JQパークス大手町のみ使用できます。ご利用には有効期限があり、返金・払い戻しはできませんので計画的な購入をお願いしています。

「第2弾大分市プレミアム付き商品券事業」 加盟店登録しました (10月1日～)

13,000円分の商品券を10,000円で購入できるプレミアム付き商品券事業に加盟店登録しました。県職員生協では紙商品券のみで12月28日までの営業時間でご利用いただけます。

大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

【分譲部門】

下記の分譲地にて建築条件付宅地を販売中です。
詳細はフリーダイヤルまでお問い合わせください。

◇別府市「新別府」（分譲地4区画・分譲住宅1戸）

◇大分市津守（分譲地1区画・分譲住宅1戸）

◇大分市小佐井（分譲地1区画）

◇大分市横尾（分譲地9区画）

【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など、様々なリフォームを扱っています。
組合員様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【問合せ先】大分県総合生協住宅事業部 0120-557-887

旅行センターについて

旅行センターは「旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に沿った旅行手配をおこなうことで、組合員の皆様へ安全、安心な旅行サービスの提供に努めております。ご旅行や組合行事などをご検討の際は、お気軽にご相談下さい。

【新規団体旅行紹介キャンペーン】

対象団体：旅行センターに新規でお申し込みの団体旅行

※過去にお取り扱いのない団体旅行となります。

対象期間：2022年10月1日～2023年5月31日までに出発の団体

対象条件：15名様以上で1泊以上の国内・海外団体旅行

（貸切バス・航空機・JRなど交通機関のついた団体旅行）

プレゼント：15名様以上のご紹介の場合

紹介者様、旅行幹事様それぞれに5,000円のギフト券をプレゼント

※15名様ごとにそれぞれ5,000円のギフト券を追加で進呈します。

（例）35名様の場合 紹介者様、旅行幹事様へ各10,000円のギフト券

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

- ・昼間（8時～18時）40分100円 昼間最大800円
- ・夜間（18時～8時）60分100円 夜間最大500円

【お得なプリペイドカード】

- ・10,000円券を7,400円で販売
 - ・5,000円券を4,300円で販売
- *おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。
ソレイユや大分市中心部商店街にご用の際は是非ご利用下さい。



大分県勤労者医療生活協同組合

2022 大分県勤労者医療生活協同組合 健康チャレンジ

コロナ禍3年目の組合員活動

例年開催していたバスハイクや、囲碁大会。グランドゴルフ大会やミニバレー大会といったスポーツ行事もコロナ禍で中止となって3年目。

医療生協として何か組合員さんへご提案できる行事は無いかと考え、今年初めて「健康チャレンジ」を実施することになりました。

取組みの内容は、健康のための活動を行い、期間中にその活動を達成できた回数が30回を超えることを目標としていくものです。

この取組みをつうじて、健康のための活動を習慣づける機会にしてはどうでしょうか。

詳しい内容は、大分協和病院、佐伯診療所の窓口。

または大分県勤労者医療生協の本部（TEL 097-568-2299）までお問合せください。

インフルエンザ予防接種のご案内

■料 金

大人（13歳～64歳）	組合員	2,700
	非組合員	3,900
大人（65歳以上）	自治体により金額が異なります。詳しくはお問い合わせください。	

※65歳以上助成は、R5年1月31日まで

小人（3歳～13歳未満） ※組合員のお子様	1回目	2,700
	2回目	1,700
小人（1歳以上～3歳未満） ※組合員のお子様	1回目	2,400
	2回目	1,500
小人（非組合員）	1・2回目	3,900

※お得な組合員料金をご用意しております。 ※「おおいた子育てほっとクーポン」利用可能です。
 ※佐伯診療所では小学生未満の接種は実施しておりません。



■予約（9月下旬頃より予約開始、10月上旬より接種開始）

- ・13歳未満の方は、1回目接種から2～4週間の間隔をおいて2回目接種が必要です。
- ・オンラインでご予約いただけます。詳細はホームページをご確認ください。※大分協和病院のみ

<http://www.oitakyowa-hp.org>

■ご予約・お問い合わせ先

大分協和病院 ☎097-568-2333（受付時間 平日10:00～12:30 土 14:00～16:00）
 佐伯診療所 ☎0972-23-2212

大分県医療生活協同組合

私たちの組合員活動を未来につなげるために ～5月に支部活動交流集会を開催



2022年は大分県医療生活協同組合にとって設立40周年の記念すべき年です。一方で組合員数の減少や組合員活動を担うボランティアである支部運営委員の世代交代が進んでいない等の課題も抱え、『このままでは私たちの活動を未来に継承できない』という危機感も持っています。そこでボランティアづくりの取り組みが前進している生協の活動に学ぶべく、5月に支部活動交流集会（Web 併用）を開催しました。医療生活協さいたまの職員を講師に、こちらから垣根を作らずにボランティアへの参加を呼びかける『言ってみるもんだ作戦』などを学び、22年度はボランティアづくりで飛躍の年にすることを参加者で確認しました。

組合員と職員で“地域で暮らす”を考える ～地域包括ケアカンファレンスのとりくみ



大分県医療生活協では地域での困りごと事例を通して、生き活きと暮らし続けるために必要なことや課題解決方法を組合員と職員が共に検討し、「まちづくり」を学ぶ機会としての役割も担う『地域包括ケアカンファレンス』を適時開催しています。5月20日には『ゴミ出しに行けなくなったらどうする？』をテーマに高齢者のゴミ出しの課題について学習会を開催し、意見交換を行いました。当日は大分市環境部清掃業務部の職員の方を招き、新しくスタートした『高齢者世帯等に対するゴミ出し支援事業』についても説明を受けました。医療生活協でも助け合いの活動として『ゴミ出し支援』に取り組んでいます。必要な方には公的な制度も紹介しながら、“安心して地域で暮らす”を支えていきたいと考えています。

大分県福祉生活協同組合

デイサービスセンターニコニコ村

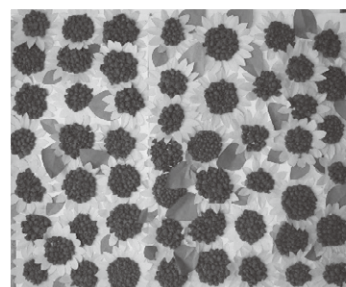
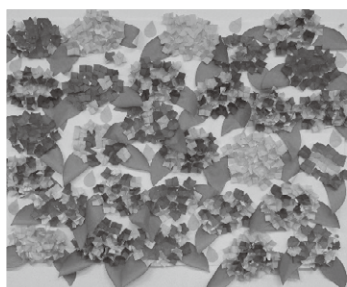
デイサービスニコニコ村では、四季を表現した壁画製作に取り組んでいます。

6月壁画製作では、折り紙を使い立体的な紫陽花を作成しました。指先を使ったとても細かな取り組みでしたが、作品が完成すると『“きれい”や“今回は上出来や”』など喜びの声が聞かれました。

7月は力強い黄色の花に緑色の葉っぱを表現する事で、夏のイメージにピッタリな向日葵の壁画製作を行いました。



紫陽花（アジサイ）



向日葵（ヒマワリ）

健康教室

大分県福祉生活協同組合では、豊肥地区での健康増進活動の一環に健康講話を行っています。今年から専門職による講話を充実させ、皆さまによりわかりやすくお伝えできるよう取り組みを進めています。



管理栄養士『食中毒の予防』



歯科衛生士『歯の健康』

給食・配食サービス

豊後大野地区を中心に“365日”食事の宅配サービス。

管理栄養士による栄養バランスの取れた献立と個別の食事形態に合わせた、減塩食、きざみ食、糖尿病食なども対応しています。



教育ローン キャンペーン

つかえるろうきん みんなのろうきん
九州ろうきん

店頭でのお申込なら
他金融機関等からの
教育ローンの
借換もOK!!

キャンペーン期間 2022.10.1(土) ~ 2023.4.30(日)
※本キャンペーンは、予告なしに期間を変更または延長する場合がございます。



Web完結型

証書貸付型

保証料はろうきんが負担します!

カード型

安心の保証料込み!

変動
金利

年1.8%~2.1%

最大
引下金利

Web完結型

証書貸付型

保証料はろうきんが負担します!

固定
金利

年2.2%~2.5%

最大
引下金利



ろうきんイメージモデル
高梨 悠

お借入条件	教育ローン	教育ローン[カード型]	Web完結型教育ローン
ご融資金額	2,000万円以内 (1万円単位)	2,000万円以内 (10万円単位)	500万円以内 (1万円単位)
ご融資期間	変動金利 20年以内 固定金利 15年以内 (据置期間含む)	変動金利 20年以内 (ご利用期間は在学期間を 限度とし最長7年以内)	変動金利 20年以内 固定金利 15年以内

◎キャンペーン金利は(一社)日本労働者信用基金協会保証によるお申込み、かつ2023年4月30日までに受付し、2023年5月31日までに借入(ご契約)した場合、適用となります。その他の保証会社でのお申込みはキャンペーン金利が適用されませんのでご注意ください。キャンペーン金利以外の借入条件(金利等)は、九州ろうきんホームページまたは店頭でご確認ください。◎キャンペーン期間中に表示金利が変更される場合がございます。◎ご融資金額は所属される会員等により異なる場合がございます。◎変動金利型は、年2回適用金利を見直します。ただし、「カード型」については、カードローンご利用期間中は年4回、元利金ご返済期間中は年2回適用金利を見直します。◎お借入後に返済方法(返済額・返済期間など)を変更される場合には、手数料(税込5,500円)がかかります。変更内容によっては、ご希望に添えない場合もございます。◎お借入予定資金に九州ろうきんで現在ご利用中のローンの借換が含まれる場合は条件がございます。なお、Web完結型教育ローンは、借換資金にご利用いただけません。◎Web完結型教育ローンは、所属される労働組合・共済会・互助会等との取り決めにより、お申込みを受付できない場合がございます。◎ご返済額の試算はお気軽に(ろうきん)まで。パソコンやスマートフォンから九州ろうきんホームページの「ローンシミュレーション」もご利用いただけます。◎記載内容は、2022年10月1日現在の内容で、保証先を(一社)日本労働者信用基金協会とする場合があります。◎金利引下には、カードローンのご契約等、取引条件がございます。◎くわしくは、九州ろうきんホームページまたは店頭の商品概要説明書でご確認ください。◎融資には審査がございます。審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

奨学金の借り換えはこちら!

教育ローン奨学金借換専用「つなぐ」

1. 毎月の返済額を軽減したい...
2. 奨学金の金利を見直したい...
3. 子どもの「奨学金」を借換してあげたい...

お取扱期間 2024年3月31日まで

くわしくはコチラ!



【お取扱店舗】

最寄り支店情報

九州労働金庫大分支店
大分市寿町1-3
TEL: 097-536-2211



※ 最寄り店舗にてお取扱いただけます。

はたらく人と、地域社会と、未来へ、「つながる!」九州ろうきん。九州ろうきんは、労働金庫法に基づき設立された勤労者のための福祉金融機関です。

2022年度第1回理事会議事録

1. 日 時 2022年6月28日(火) 16時15分～16時25分
2. 会 場 大分市中央町 ソレイユ7階会議室
3. 出席者 理事総数13名中全員出席、監事総数2名中全員欠席

議 題

4. 議 事

<審議事項>

- (1)代表理事の選定について
- (2)会長理事及び専務理事の互選について

- (3)役員退任慰労金の承認について
- (4)県生協連第29回平和のつどい、ピースアクションinナガサキの実施について

2022年度第2回理事会議事録

1. 日 時 2022年7月13日(水) 13時～14時
2. 会 場 大分市中央町 ソレイユ3階会議室
3. 出席者 理事総数13名中11名出席、監事総数2名中1名出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

- (1)県生協連活動の報告
 - 6月29日 県労福協第2回理事会
 - 7月1日 県生協連第1回組織委員会
 - 7月4日 県生協連第1回監事会
 - 7月12日 県生協連上期会費の請求

<審議事項>

- (1)2022年度第30回県議会議員との懇談会について
- (2)2023年度県行政への要望書の作成と提出について
- (3)2022年度県生協連役員視察研修について
- (4)2022年度会員生協監事研修会について
- (5)2022年度第27回大分県生協大会(役職員研修会)について

<協議事項>

- (1)大分県の「消費者被害防止の広報・啓発活動」の実施について

2022年度第3回理事会議事録

1. 日 時 2022年9月14日(水) 16時～17時20分
2. 会 場 大分市都町 アートホテル大分 2階会議室
3. 出席者 理事総数13名中11名出席、監事総数2名中2名出席

議 題

4. 議 事

<報告事項>

- (1)県生協連活動の報告
 - 7月22日 県協同組合協議会事務局会議
 - 7月28日 県労働者総合生協第40回総代会
 - 7月30日 県生協連第29回平和のつどい
 - 8月1日 大分県第1回消費生活審議会
 - 8月3日 日生協九州地連第1回運営委員会・県連活動推進会議
 - 8月7・8日 2022年度ピースアクションinナガサキ
 - 8月22日 地球温暖化対策おいた市民会議普及啓発部会
 - 8月24日 県消費者問題ネットワーク第3回理事会
 - 8月26日 地球温暖化対策おいた市民会議講座担当者会議

- 9月7日 県生協連第2回組織委員会
- 9月8日 日生協・九州地連「日田市民生協経営対策会議」
- 9月9日 県労福協第3回理事会
- 9月14日 県生協連第3回理事会
- 9月14日 県生協連「日田市民生協経営対策会議」
- 9月14日 「第30回県議会議員との懇談会」

<審議事項>

- (1)2023年度県行政への要望書の作成と提出について
- (2)2022年度県生協連役員視察研修について
- (3)2022年度会員生協監事研修課について
- (4)第27回大分県生協大会(役職員研修会)について
- (5)第33回県生協連スポーツ交流会(ボウリング大会)について